阳和十五年桜星会三十周年記念歌

今ぞなる三十年の崇高き青史よりはいた。からながりなかりながりながりながりながりながりながりながれて うち 立<sup>た</sup> 清き郷石狩り せてし先人がは 先人が跡がれる暖野に

く鳴るなり かん

守り來し正義の精神また。これが、これが、これが、これが、これが、これでは、こころは、こころの情報を表していました。

の秘奥

0) 懐中 に

雄叫びは高く湧くなりをたけれた。

東がんがし 天ありつち 暴風 雨し

うち立て 世界を救 立てん永劫の平和をする。だけ、ために変している。これではいませんではいませんではいませんとはいました。

ゎ叫ば ば なん い あがる歡喜 ぎ かるも 平介が和り とす 7 の大旆

呉泰治郎 Ŧi. 郎 君 君 作曲 作

歌